

学校番号	学 校 名
25	大垣養老高等学校

学校教育目標	<p>「質実剛健・自主創造」の校訓のもと、生徒の将来の自己実現と幸せな人生を願い、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、自立と共生をもって地域に生きる有為な人材を育成する。</p> <p>＜育てたい生徒の姿＞</p> <p>(1) 明るく、元気な挨拶ができ、身だしなみを整え、規律ある言動ができる生徒【外見】</p> <p>(2) 感謝の心、人のためになろうとする温かい心と忍耐力をもった生徒【内面】</p> <p>(3) 選択力を身に付け、自らの選択に対して自己責任のとれる生徒【責任感】</p> <p>(4) 自ら学ぶ姿勢を大切にし、創造性とチャレンジ精神をもった生徒【積極性】</p>	
<p>＜教育指導の重点＞</p> <p>今年度の具体的な重点目標</p>	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 キャリア教育を推進し、生徒の自立のために必要な取り組みを積極的に実践し、魅力ある学校づくりに努める。	<p>①社会的、職業的自立に向け、全校共通の基礎学力テストに取り組みます。</p> <p>②キャリア教育を意識し、各学科、各系列で目標を定め、資格取得率の向上を目指します。</p>	<p>①全校共通の基礎学力テスト結果の推移により、学力の定着度を判断します。</p> <p>②各種資格の取得率を各学科、各系列で定めた目標に照らし評価します。</p>
2 授業改善に努め、生徒自らが学び考える授業を実践し、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。	<p>①積極的な公開授業や授業アンケート、授業改善に向けた校内研修を実施し、指導力の向上と授業改善に努め、「分かる授業」を実践します。</p> <p>②総合的な学習の時間、課題研究等における知的財産教育、地域と連携した商品開発等を通して、産業人として必要な創造力、実践力、活用力の育成に努めます。</p>	<p>①生徒による授業アンケートを実施し、「分かる授業」の達成度90%以上を目標とします。</p> <p>②主体的な学びの成果をルーブリックを活用して評価します。</p>
3 他者を尊重し、生命を大切にすることを実践し、規範意識や品位を備えた心豊かな生徒を育てる。	<p>①豊かな心、生命を大切にすることを育むため、「生きた教材」の活用を努めるとともに、人権、情報モラル、性教育、交通安全に関する講話（LHR）を実施します。</p> <p>②社会性を身に付け、TPOに応じた行動がとれる生徒を育成するため、挨拶や言葉遣い、入退室のマナー指導を充実します。</p>	<p>①生活アンケートや教育相談により、学校生活の充実・満足度を評価します。</p> <p>②学校評議員、PTA、地域からの学校評価を指標とします。</p>
4 地域連携に加え国際理解教育を推進することにより、コミュニケーション能力とグローバルな視野を身に付けた生徒を育てる。	<p>①コミュニケーション能力を身に付けるため、インターンシップ、奉仕活動、出前授業など地域と連携し、学校施設では実施できない教育活動を実施します。</p> <p>②グローバルな視点で地域に貢献できる産業人を育成するため、シンガポール・マレーシアへの海外体験研修を行い、現地の学校・学生との交流や専門分野の研修を行います。帰国後は、全校での報告会を実施します。</p>	<p>①生活アンケート、連携先からの評価を指標とします。</p> <p>②帰国後報告会の内容とアンケートにより、研修の意義や成果を評価します。</p>
5 部活動、生徒会活動、農業クラブ活動、家庭クラブ活動など生徒が主体となる活動を重視し、活力ある学校づくりに努める。	<p>①球技大会、体育祭、いぶき祭、大養祭など生徒が主体となり企画・運営する学校・生徒会行事を充実します。</p> <p>②生徒会、農業クラブ、家庭クラブ、商業クラブ、Sクラブ、MSリーダーズ活動など生徒が主体となり地域連携・貢献を深めます。</p> <p>③1年生の部活動は全員加入とし、部活動顧問と担任による情報交換等の連携強化に取り組み、部活動の活性化に努めます。</p>	<p>①生徒や保護者によるアンケート等でその達成度を把握します。</p> <p>②地域の声や生徒の活動報告書等により、評価します。</p> <p>③部活動加入率や大会結果を指標とします。</p>